

令和4年8月9日

各 位

会社名 トラスコ中山株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
 (コード9830 東証プライム)
 問合せ先 取締役 経営管理本部 本部長 兼
 デジタル戦略本部 本部長
 数見 篤
 (TEL. 03-3433-9840)

剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和4年8月9日開催の取締役会において、下記のとおり令和4年6月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議するとともに、令和3年12月期決算発表時に公表（以下、同公表）した配当予想の修正を決定しましたのでお知らせします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (令和4年2月9日公表)	前事業年度実績 (令和3年12月期)
基 準 日	令和4年6月30日	同左	令和3年6月30日
1株当たり配当金	16円50銭	18円00銭	20円00銭
配当金総額	1,088百万円	—	1,318百万円
効力発生日	令和4年8月29日	—	令和3年8月23日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想の修正

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想(令和4年2月9日)	18円00銭	20円00銭	38円00銭
今 回 修 正 予 想	18円00銭	21円50銭	38円00銭
当 期 実 績	16円50銭	18円00銭	38円00銭
前期実績(令和3年12月期)	20円00銭	15円50銭	35円50銭

3. 修正の理由

(剰余金の配当及び配当予想の修正)

利益配分につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を基礎とし、中間配当金は1株当たり四半期純利益が20円を上回る場合は、その連結配当性向を25%とし、業績に連動した配当を行うことを基本方針としています。なお、事業活動に直接の関わりのない特殊要因(特別損益)により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度については、その影響を考慮し、配当を決定します。

当第2四半期末の利益配当につきましては、売上高は概ね同公表時の予想通り推移したものの、物価高騰が続く中で従業員の生活支援を目的とした臨時賞与(約5億22百万円)の支給(令和4年5月13日実施)などの影響により、1株当たり四半期純利益は予想を下回る64円46銭となりますが、特別損益を除外し算定した64円30銭を1株当たり四半期純利益とみなし、連結配当性向25%を乗じて50銭未満切り上げ計算をした結果、第2四半期末の配当金は1株当たり16円50銭となりました。この金額は、同公表時の予想配当を1円50銭下回ります。

下期(令和4年7月1日~令和4年12月31日)は同公表時の予想通りの売上高を見込んでおりますが、在庫アイテム数の拡充や見積自動化システムを促進し受発注・見積の業務効率を改善することにより残業代を抑制、マテハン機器の導入による省力化・省人化を進め、パートタイマー採用を抑制、節電活動による電気料金の削減など、経費削減を実行することで通期業績を達成し、親会社株主に帰属する当期純利益は、同公表時の予想通り99億60百万円を見込んでおります。したがって、期末配当金は同公表時の20円00銭を1円50銭上回る21円50銭となる予想です。よって、現時点では年間配当金は38円00銭(1株当たり当期純利益は151円04銭)となり、変更はありません。

以上